

(様式2)

令和7年度公開授業・公開講座用シラバス

		科目No.	47
大学・短大名	宮城学院女子大学	学部・学科	学芸学部 英文学科
授業科目名	自信が湧く！英検2次面接対策セミナー	担当教員名	Timothy Phelan
開講期間	2025/6/22	開講曜日・時間	日曜日 14:00～15:00
受入人数	制限なし	会場	宮城学院女子大学
公開授業・公開講座の形態(①～③から1つ選択し○をつける)	①対面のみ ②オンラインのみ ③対面・オンラインどちらでも可		
②または③の場合の具体的なウェブ会議ツールの名称等	zoom		
授業の目標等	<p>本講座では以下の3点を主な目標とします：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 英検2次面接試験の評価構造を正確に理解し、試験官が重視するポイントを把握する 2. 面接特有の質問パターンを分析し、効果的な応答の組み立て方を習得する 3. 音読・発音・アイコンタクトなど、言語面と非言語面の両方から評価を高める具体的技術を身につける。 		
授業内容・計画等	<p>英検2次面接の基本構造と真の評価ポイント 合否を分ける細かな要素-知っておくべき面接のコツ 質問の意図を読み取り、効果的に応答する方法 緊張状態でも実力を発揮するための具体的テクニック 実践練習とフィードバック</p>		
テキスト・教材・参考書等	<p>当日資料を配布します。</p>		
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に自己紹介や意見を述べる練習をしておく効果的です ・講座中にはスマートフォンをマナーモードに設定してください ・メモを取る場合は講座の進行を妨げないようご注意ください ・実践練習には積極的に参加することで学習効果が高まります ・質問は講座内の指定された時間をお願いします 		
高校生へのメッセージ等	<p>英検2次面接は「何を」話すかだけでなく「どのように」話すかが重要です。この講座では一般的な対策本では見落とされがちな、合否を分ける実践的なテクニックをお伝えします。60分という短い時間ですが、面接に対する考え方が変わり、自信を持って試験に臨めるようになるでしょう。</p>		

(様式2)

令和7年度公開授業・公開講座用シラバス

		科目No.	48
大学・短大名	宮城学院女子大学	学部・学科	教育学部・教育学科
授業科目名	保育者が心理学を学ぶ理由	担当教員名	平川久美子・兪キョン蘭
開講期間	6月21日(土)、28日(土)	開講曜日・時間	10時～11時
受入人数	40人	会場	宮城学院女子大学
公開授業・公開講座の形態(①～③から1つ選択し○をつける)	①対面のみ	②オンラインのみ	③対面・オンラインどちらでも可
②または③の場合の具体的なウェブ会議ツールの名称等	Zoom		
授業の目標等	<p>「保育者になるのに心理学の知識は必要?」「心理学を学ぶとどんな良いことがあるの?」と思う人もいられるかもしれません。人を理解する上で、発達の道筋や心の働きを学ぶことはとても大切です。保育者を目指す学生が心理学を学ぶ意義について理解を深めることを目標とします。</p>		
授業内容・計画等	<p>教育学科幼児教育専攻の教員が発達心理学と臨床心理学の講義を行います。講義は2回、各60分の予定です。</p> <p>6月21日(土)『『発達する』ってどんなこと?』(平川久美子)</p> <p>6月28日(土)『赤ちゃんはママがいい?』(兪キョン蘭)</p>		
テキスト・教材・参考書等	<p>テキストや参考書は特に必要ありません。</p> <p>必要な資料は授業内で配布します。</p>		
履修上の注意	<p>オンラインで参加する場合は、当日、Zoomを利用することができるようにパソコンやネットワーク環境を整えておいてください。</p>		
高校生へのメッセージ等	<p>高校生の皆さんは心理学を学んだことのない人が多いと思いますが、心理学を学んでみると皆さんが日常生活の中で経験してきたことと密接に関連していることに気づくはずですよ。ぜひ大学の授業の雰囲気味わってみてください。</p>		

(様式2)

令和7年度公開授業・公開講座用シラバス

		科目No.	49
大学・短大名	宮城学院女子大学	学部・学科	教育学部・教育学科
授業科目名	未来を育む保育のチカラ	担当教員名	石川隆、守渉、伊藤哲章
開講期間	8月22日、29日、9月5日	開講曜日・時間	18時～19時
受入人数	40人	会場	オンライン
公開授業・公開講座の形態(①～③から1つ選択し○をつける)	①対面のみ	②オンラインのみ	③対面・オンラインどちらでも可
②または③の場合の具体的なウェブ会議ツールの名称等	Zoom		
授業の目標等	<p>(1)子どもたちの「遊び」と「学び」がどのように成長につながるかを知る。</p> <p>(2)保育における環境、運動、造形表現の役割を理解し、それぞれが子どもの心と体に与える影響を学ぶ。</p> <p>(3)子どもたちを育む保育の魅力について興味を深め、保育や教育に関する視野を広げる。</p>		
授業内容・計画等	<p>8月22日(金)「環境のチカラ:子どもが育つ空間づくり」(伊藤哲章)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然や身近な環境が子どもの好奇心を育む理由とは? ・自然素材を使った遊びや学びの具体例を考える。 <p>8月29日(金)「運動のチカラ:元気な心と体を育てる動きの重要性」(守渉)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動が子どもの体と心に与える影響を知る。 ・保育現場での運動遊びや体を動かす活動の工夫を紹介。 <p>9月2日(金)「造形表現のチカラ:自由な表現が生む創造力」(石川隆)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの創造力を引き出す造形表現活動とは? ・絵を描く、物を作ることで広がる子どもの世界を学ぶ。 		
テキスト・教材・参考書等	<p>参考資料は、授業の中で紹介します。</p>		
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン形式で行う授業のため、インターネット環境を事前に確認してください。 ・資料やワークシートを配布する場合がありますので、ダウンロードできる準備をお願いします。 ・特別な知識やスキルは必要ありません。保育や子どもの成長に興味がある方はどなたでも参加できます。 ・参加中は積極的に質問や感想を共有してください。 		

高校生へのメッセージ等

この授業では、保育の現場で大切にされている「環境」「運動」「造形表現」の3つの視点から、子どもたちがどのように成長していくのかを学びます。保育というと「子どもと遊ぶ仕事」というイメージがあるかもしれませんが、それ以上に奥深く、やりがいのある分野です。

子どもたちの笑顔や成長を支える保育の魅力を感じながら、未来の子どもたちにどんな環境を作れるのか、一緒に考えてみましょう！保育に興味がある方も、そうでない方も、楽しく学べる内容になっています。ぜひ参加してみてくださいね！

(様式2)

令和7年度公開授業・公開講座用シラバス

		科目No.	50
大学・短大名	宮城学院女子大学	学部・学科	教育学部・教育学科
授業科目名	社会福祉の世界へ	担当教員名	尾形良子、田中秀和
開講期間	7月3日(木)、10日(木)	開講曜日・時間	18時～19時
受入人数	40人	会場	宮城学院女子大学
公開授業・公開講座の形態(①～③から1つ選択し○をつける)	①対面のみ	②オンラインのみ	③対面・オンラインどちらでも可
②または③の場合の具体的なウェブ会議ツールの名称等	Zoom		
授業の目標等	<p>(1)社会福祉の基本的な概念や仕組みを理解する。 (2)地域社会における福祉の役割や課題について考える。 (3)自身の生活や社会とのつながりを意識し、将来の進路選択に役立てる。</p>		
授業内容・計画等	<p>(1)社会福祉の基本的な概念や仕組みを理解する。 人を支える社会福祉のあり方を説明します。 (2)地域社会における福祉の役割や課題について考える。 人は社会の中でどのように見守られるべきなのか、実際の地域社会での事例から考えます。 (3)自身の生活や社会とのつながりを意識し、将来の進路選択に役立てる。 7月3日(木)「児童虐待を貧困の視点から捉えてみよう」(田中秀和) 貧困の視点から児童虐待を考えてます。それにより、児童虐待に対する幅広い視点をもつことを目標とします。そもそも貧困とはなにか、貧困状態とはどのような有様を指し、それがいかに児童虐待と関連しているのかについて学ぶことにより、自分事として当該問題を考え、社会福祉が対象とする幅広い視点を知っていただきたいと考えています。 7月10日(木)「虐待を受けた子どもたちのその後と地域でできる支援」(尾形良子) 社会福祉の課題となる児童虐待のケースをもとに、被害を受けた児童にはどのような将来が待っているのか、同年代の未来ある中高生がどのような状況の中、社会福祉のサービスを利用しながら生き抜いていくのかを一緒に考えます。人を支える仕事としての社会福祉士やソーシャルワーカーの「支え方」を学びとっていただきたいと考えています。”□</p>		
テキスト・教材・参考書等	<p>参考資料は、授業の中で紹介します。</p>		
履修上の注意			

- ・オンライン形式で行う授業のため、インターネット環境を事前に確認してください。
- ・資料やワークシートを配布する場合がありますので、ダウンロードできる準備をお願いします。
- ・特別な知識やスキルは必要ありません。社会福祉に興味がある方はどなたでも参加できます。
- ・参加中は積極的に質問や感想を共有してください。

高校生へのメッセージ等

この公開授業では、社会福祉の基本的な考え方や仕組み、そして社会福祉がどのように地域社会や私たちの日常生活を支えているかについて学びます。具体的な事例や高校生にも身近なテーマを通じて、社会福祉の重要性を分かりやすく解説します。福祉とは何か、なぜ必要なのかを考えるきっかけをつくり、将来の進路や社会貢献についても視野を広げます。

(様式2)

令和7年度公開授業・公開講座用シラバス

		科目No.	51
大学・短大名	宮城学院女子大学	学部・学科	教育学科児童教育専攻
授業科目名	小学校教育概論	担当教員名	板橋 夏樹、梅田 真理、白石 雅一、丹 洋一、藤崎 さなえ
開講期間	7/19(1日)	開講曜日・時間	1時間目(10:30~12:00) 2時間目(13:00~14:30)
受入人数	50	会場	宮城学院女子大学【教室未定】
公開授業・公開講座の形態(①~③から1つ選択し○をつける)	①対面のみ		②オンラインのみ
②または③の場合の具体的なウェブ会議ツールの名称等	③対面・オンラインどちらでも可		
授業の目標等			
<input type="checkbox"/>	<p>小学校教育の意義や目的、教員の役割や仕事内容についての理解を深めます。また、小学校における教科教育や特別支援教育の現状や課題について理解しつつ、教員としてどのような資質が必要なのかを考えることができるようにします。</p>		
授業内容・計画等	<p>1時間目(10:30~12:00) 小学校教育の意義や教員の仕事の内容、子ども達を取り巻く現代的課題について広く学びます。 2時間目(13:00~14:30) この時間は、「発達障害の理解と支援」(梅田)、「育児と人間関係(幼児教育)」(白石)、「楽しく学びたいと思える算数の授業づくり」(丹)、「英語教育: Phonicsってなに? どうやって教えれば良いんだろう?」(藤崎)、「理科って面白い! 子ども達の見方」(板橋)の5講座に分かれて授業を行います。興味のある講座にご参加ください。</p>		
テキスト・教材・参考書等	<p>テキストは特にありません。参考図書などは、講義の中で紹介します。</p>		
履修上の注意	<p>特になし</p>		
高校生へのメッセージ等	<p>小学校の教員になりたいという夢を持っている方は、ぜひご参加ください。キャリア教育の一貫として、教員になりたい方々に向けた大学での学びの手ほどきをいたします。</p>		

(様式2)

令和7年度公開授業・公開講座用シラバス

		科目No.	52
大学・短大名	宮城学院女子大学	学部・学科	心理行動科学科
授業科目名	高校生のための心理学講座	担当教員名	木野和代、森康浩、宮下達哉
開講期間	11月29日	開講曜日・時間	土曜日 13時～16時
受入人数	40人程度	会場	未定
公開授業・公開講座の形態(①～③から1つ選択し○をつける)	①対面のみ	②オンラインのみ	③対面・オンラインどちらでも可
②または③の場合の具体的なウェブ会議ツールの名称等			
授業の目標等			
この講座では異なる専門をもつ3人の心理学者が感情心理学、社会心理学、感性心理学の立場からお話しをします。多岐にわたる心理学の領域についての理解を深めることを目標とします。			
授業内容・計画等	<p>3つの心理学の領域についてそれぞれの専門家が講義を行います。</p> <p>木野和代(感情心理学):「怒りのメカニズム」 私たちはなぜ、どんなときに怒りを感じるのでしょうか？怒りは一般によくない感情清というように考えられ、表に表すのをためらいがちですが、伝えることでお互いの関係をよりよいものにしていく可能性はないのでしょうか。自分や他者の怒りについての理解を深め、向き合い方を考えてみましょう。</p> <p>森康浩(社会心理学):「周囲の人に流されてしまうのはなぜ？」 人は社会の中で生きています。そのため、他者から様々な影響を受けますし、知らず知らずのうちに自分が相手に影響していることもあります。なぜ、人は社会的な状況の影響を受けて、行動や考えを変えてしまうのでしょうか？様々な要因が実はありますが、社会心理学の視点から詳らかにしていきましょう。</p> <p>宮下達哉(感性心理学):「芸術作品の評価が人によって違うのはなんでだろう？」 美術館などでまったく同じ絵画を観ていても、Aさんは「この絵は好き」という一方で、Bさんは「この絵は嫌い」という場合があります。このように、芸術作品に対する評価は個人個人でバラバラです。では、何がこの個人差に影響しているのでしょうか？こうした点について、感性心理学の観点から考えてみましょう。</p>		
テキスト・教材・参考書等	<p>テキストはありません。参考資料がある場合は講義を実施する際に配布致します。</p>		
履修上の注意	<p>講義で扱われる内容とこれまでの経験とを照らし合わせることで、理解が深まり、心理学を日常の中でどのように活かすことができるのかを考えることができますと思います。</p>		
高校生へのメッセージ等	<p>心理学は大学で学ぶことができる学問の中でも人気のある分野です。心理学は人を対象とした学問であり、さまざまな領域に広がっています。大学に入る前にどのようなことを学ぶことができるのか心理学の魅力を知る機会を持っていただき、興味を広げることができればと思います。</p>		

(様式2)

令和7年度公開授業・公開講座用シラバス

		科目No.	53
大学・短大名	宮城学院女子大学	学部・学科	学芸学部・人間文化学科
授業科目名	アジアの女性	担当教員名	杉井信、八木祐子
開講期間	6月14日	開講曜日・時間	土・13時～15時10分
受入人数	40人	会場	宮城学院女子大学
公開授業・公開講座の形態(①～③から1つ選択し○をつける)	①対面のみ	②オンラインのみ	③対面・オンラインどちらでも可
②または③の場合の具体的なウェブ会議ツールの名称等	zoom		
授業の目標等	<p>アジア各地の女性の生き方や考え方について理解を深めることを目標とします。授業は随時みなさんとの意見交換を交えながら進め、質問なども受け付けます。グローバル化が進み、さらなる活躍が期待される現代社会の女性について、一緒に考える機会にしていきたいと考えています。</p>		
授業内容・計画等	<p>人間文化学科教員が、専門領域とする東南アジア地域研究・南アジア地域研究について、「女性」をテーマに講義を行います。講義は全2回、各60分の予定です。大学の授業がどのようなものか、経験する良い機会にもなると思います。</p> <p><6月14日></p> <p>①杉井信「暮らしと社会を支えるフィリピンの女性たち」</p> <p>②八木祐子「変わるインド社会と女性」</p>		
テキスト・教材・参考書等	<p>テキストは特にありません。必要な資料を授業内で配布します。参考図書なども授業の中で紹介します。</p>		
履修上の注意	<p>高校で地理や世界史を履修していなくても良いですが、興味関心を持って参加してください。オンラインで参加する人は、zoomが利用できるようにパソコンやネットワーク環境を整えておいてください。みなさんとコミュニケーションを取りながら、楽しい授業にしていきたいと思います。</p>		
高校生へのメッセージ等	<p>社会の教科書には出てこない、知られざる女性の姿もお話します。海外の女性の生き方から学び、豊かな視点を養って、これからの女性について考えていきましょう。</p>		

(様式2)

令和7年度公開授業・公開講座用シラバス

		科目No.	54
大学・短大名	宮城学院女子大学	学部・学科	学芸学部・人間文化学科
授業科目名	旅の歴史～ジェンダーの観点から～	担当教員名	櫻井美幸、高橋陽一
開講期間	7月12日	開講曜日・時間	土・13時～15時10分
受入人数	40人	会場	宮城学院女子大学
公開授業・公開講座の形態(①～③から1つ選択し○をつける)	①対面のみ	②オンラインのみ	③対面・オンラインどちらでも可
②または③の場合の具体的なウェブ会議ツールの名称等	zoom		
授業の目標等	<p>ヨーロッパと日本の旅の歴史をジェンダーの観点から読み解き、社会や文化の一面を探ってみましょう。授業は随時みなさんとの意見交換を交えながら進め、質問なども受け付けます。歴史をひもとき、知ることを通し、現代社会の女性について一緒に考える機会にもしていきたいと考えています。</p>		
授業内容・計画等	<p>人間文化学科教員が、ヨーロッパと日本の旅について、「ジェンダー」の観点から講義を行います。講義は全2回、各60分の予定です。大学の授業がどのようなものか、経験する良い機会にもなると思います。 <7月12日> ①櫻井美幸「中・近世ヨーロッパにおける女性の旅」 ②高橋陽一「旅から考える江戸時代の社会～男女の違いはなぜ生まれるのか～」</p>		
テキスト・教材・参考書等	<p>テキストは特にありません。必要な資料を授業内で配布します。参考図書なども授業の中で紹介します。</p>		
履修上の注意	<p>高校で世界史や日本史を履修していなくても良いですが、興味関心を持って参加してください。オンラインで参加する人は、zoomが利用できるようにパソコンやネットワーク環境を整えておいてください。みなさんとコミュニケーションを取りながら、楽しい授業にしていきたいと思ひます。</p>		
高校生へのメッセージ等	<p>過去の人々の目線に立つ、過去の人々の生き方から現代を見つめる。私たちの誰もが経験している「旅行」をテーマにこうした豊かな視点を養いながら、これからの女性について考えていきましょう。</p>		

(様式2)

令和7年度公開授業・公開講座用シラバス

		科目No.	55
大学・短大名	宮城学院女子大学	学部・学科	生活文化デザイン学科
授業科目名	建築デザイン入門	担当教員名	安田直民
開講期間	8月6日	開講曜日・時間	13:00-16:10
受入人数	30	会場	家政館3F
公開授業・公開講座の形態(①～③から1つ選択し○をつける)	①対面のみ	②オンラインのみ	③対面・オンラインどちらでも可
②または③の場合の具体的なウェブ会議ツールの名称等			
授業の目標等	<p>建築物を建てるという視点で設計を学びます。 設計図面には何が描かれているのでしょうか。それは単なる実物の縮尺イメージではありません。建築物を建てるための情報のかたまりです。完成した建物との比較から、図面の意味を紐解いていきます。さらにそうした図面が示す建物の素材を解説し、設計から建設までを一連の流れとして理解できることを目標とします。</p>		
授業内容・計画等	<p>(前半) 建築物を建てるための設計図面について学びます。さらに手書き図面からCAD、BIMへの移行について概説し、さまざまな設計図書にふれます。 (後半) 建物はどのような素材によって建てられているのか、実例を示しながら、具体的な建物の建設プロセスを解説します。</p>		
テキスト・教材・参考書等	<p>テキストはとくにありません。授業で用いる資料はスライド等で紹介します。</p>		
履修上の注意	<p>建築を学ぶことは高等学校の理系、文系の区別では包含できない分野ですので、文理の別は問いません。建築デザインや、インテリアに興味をもって参加してください。</p>		
高校生へのメッセージ等	<p>自分の家、学校や図書館、駅やスーパーマーケットまで、建築物は身の回りに溢れています。では、そうした建物はどのように建てられているのでしょうか。名建築から身近な建物まで、「建てる」の視点で考える授業です。</p>		

(様式2)

令和7年度公開授業・公開講座用シラバス

		科目No.	56
大学・短大名	宮城学院女子大学	学部・学科	生活科学部・生活文化デザイン学科
授業科目名	住まいと健康	担当教員名	長谷川麻子
開講期間	8月7日	開講曜日・時間	木・10:30～14:30
受入人数	30名	会場	宮城学院女子大学(教室未定)
公開授業・公開講座の形態(①～③から1つ選択し○をつける)	①対面のみ	②オンラインのみ	③対面・オンラインどちらでも可
②または③の場合の具体的なウェブ会議ツールの名称等			
授業の目標等	暑さ／寒さをしのぎ、健康で快適に住まうためには、どうしたらよいのでしょうか？ 住まいと健康の関係について理解を深め、具体的な対策は何か考え、実践できるようになりましょう。		
授業内容・計画等	室内外の温熱・空気環境が健康に及ぼす影響や、快適性を向上させる方法について、講義だけではなく、実測によりデータ化して観察し、結果と考察をシェアしながら理解を深めましょう。 10:30～11:30 講義:住まいと健康の関係について学びます。 (11:30～12:30 昼休み) 12:30～13:30 実測体験:環境計測器を使って、教室内や外の様子を測定してみよう。 13:30～14:30 まとめ:お互いに分かったことをシェアしよう。		
テキスト・教材・参考書等	資料類は、授業時に配布します。		
履修上の注意	授業を受ける前に、以下のことがらについて、みなさんの家をよく観察して来て下さい。 1) 家が建てられたのは、何年前でしたか？ 2) 外の空気はどこから入って来て、部屋の空気はどこから出て行きますか？ 3) 冷房や暖房の機器類は、どのような製品で、どこに設置されていますか？		
高校生へのメッセージ等	人生で一番長い時間過ごすのが「住まい」です。 人間の「健康」を保つためには、栄養バランスや運動が欠かせないだけでなく、実は、「住まい」の環境も影響しています。 「住まい」で「健康」に過ごす方法を知って、ご家族と一緒に実践してみてください。		

		科目No.	57
大学・短大名	宮城学院女子大学	学部・学科	生活文化デザイン学科
授業科目名	人間と空間	担当教員名	林 瑞紀
開講期間	8月8日	開講曜日・時間	13:00～14:00
受入人数	30	会場	宮城学院女子大学(教室未定)
公開授業・公開講座の形態(①～③から1つ選択し○をつける)	<input checked="" type="radio"/> ①対面のみ <input type="radio"/> ②オンラインのみ <input type="radio"/> ③対面・オンラインどちらでも可		
②または③の場合の具体的なウェブ会議ツールの名称等			
授業の目標等	<p>・本授業の目標は、受講者に「人間と空間のつながりについて考えられる力を養うこと」です。</p> <p>・授業では、わたしたちが日常的に利用する空間(学校、図書館、公園など)に着目して、どのような使いやすい工夫や計画がされているのか説明していきます。</p>		
授業内容・計画等	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション、担当教員の自己紹介 2. 講義 3. 演習 4. まとめ 		
テキスト・教材・参考書等	<p>・テキストは特にありません。</p> <p>・授業中にプロジェクターで映すスライドを皆さんにもプリントで配布します。</p>		
履修上の注意	<p>・事前の準備や予備知識は不要です。</p> <p>・QRコードを読み取れるようスマートフォン等を持参して下さい。</p> <p>・文系理系問わず、建築や空間に少しでも興味がある方は大歓迎です。</p> <p>・授業中に受講者個人に質問回答したりはしないです。気楽に授業を受けてみてください！</p>		
高校生へのメッセージ等	<p>・わたしたちが普段何気なく使っている建物や外部の空間は、使いやすさを目指して計画されています。では、どのような工夫がされているのでしょうか。人間(スケールや行動)の視点から空間を探ってみましょう！</p> <p>※以下、授業に関連するキーワードです。</p> <p>パーソナルスペース、アフォーダンス、ソシオフーガル/ソシオペタル、痕跡のデザイン</p>		

(様式2)

令和7年度公開授業・公開講座用シラバス

		科目No.	58
大学・短大名	宮城学院女子大学	学部・学科	生活文化デザイン学科
授業科目名	KIMONOの国のファッション入門	担当教員名	大久保尚子
開講期間	8月9日	開講曜日・時間	10:00-11:00
受入人数	30	会場	宮城学院女子大学(教室未定)
公開授業・公開講座の形態(①～③から1つ選択し○をつける)	①対面のみ	②オンラインのみ	③対面・オンラインどちらでも可
②または③の場合の具体的なウェブ会議ツールの名称等	ZOOM		
授業の目標等	世界で注目される日本の「きもの」のファッションとしての面白さをに気づくこと、同時に世界的に評価されてきた日本のファッション・デザイナーたちの仕事と「きもの」の美意識との関係に関心を持つことを目標とします。		
授業内容・計画等	ファッションとしてのKIMONOは近年、再びグローバルに注目され、認知度が高まっています。江戸時代に花開いた小袖(こそで 現在のきもの前身)の文様の楽しみ方や装い方の美意識を、実物資料の画像や絵画作品の描写などを取り上げて紹介します。また、20世紀後半以降、独自性のある作品が評価されてきた日本のファッション・デザイナーたちの仕事と「きもの」の表現、美意識とのつながりについても考えます。		
テキスト・教材・参考書等	テキストはとくにありません。		
履修上の注意	オンラインで参加する人はZOOMが利用できるようにパソコンやネットワーク環境を整えておいてください。		
高校生へのメッセージ等	日本のデザイン、服飾(特にきものや現代のファッション)、染織(テキスタイル)に関心のある方は受講してみてください。		

(様式2)

令和7年度公開授業・公開講座用シラバス

		科目No.	59
大学・短大名	宮城学院女子大学	学部・学科	生活文化デザイン学科
授業科目名	若者はなぜ結婚しなくなったのか 家族の常識をアップデート	担当教員名	藤田嘉代子
開講期間	8月9日	開講曜日・時間	11:10-12:10
受入人数	30	会場	宮城学院女子大学(教室未定)
公開授業・公開講座の形態(①～③から1つ選択し○をつける)	①対面のみ	②オンラインのみ	③対面・オンラインどちらでも可
②または③の場合の具体的なウェブ会議ツールの名称等	ZOOM		
授業の目標等	<p>家族社会学について学びます。授業は皆さんと意見交換を交えながら進めたいと思います。「結婚の常識をアップデート」として独身者の婚活や多様な家族について考えます。結婚という事象を比較社会学の観点から見て、日本の家族のありようを客観的に捉えられるようになることを目標とします。</p>		
授業内容・計画等	<p>生活文化デザイン学科の教員が専門とする家族社会学について、高校生にとってもわかりやすい入門の授業をおこないます。講義は60分です。大学の授業がどのようなものか体験してみてください。また、高校で学ぶ社会科や家庭科の発展編として、現代の家族やジェンダーに興味ある方は受講ください。</p>		
テキスト・教材・参考書等	<p>テキストはとくにありません。</p>		
履修上の注意	<p>オンラインで参加する人はZOOMが利用できるようにパソコンやネットワーク環境を整えておいてください。</p>		
高校生へのメッセージ等	<p>社会や家庭科の授業ではなかなか扱えない、すこし専門的な内容も扱います。現代の結婚はどうなっているのか。若者はなぜ結婚しづらくなっているのか、結婚や家族をつくることについて自分事として考え、人生設計に役立つヒントを得ましょう。</p>		

令和7年度公開授業・公開講座用シラバス

		科目No.	60
大学・短大名	宮城学院女子大学	学部・学科	生活文化デザイン学科
授業科目名	インテリアコーディネート特論Ⅱ	担当教員名	洞口 苗子
開講期間	8/6～9、18～20の間で2日	開講曜日・時間	9:30-16:10
受入人数	10	会場	TateshitaCommon (岩沼市館下3-1-23) いわぬま市民交流プラザ
公開授業・公開講座の形態(①～③から1つ選択し○をつける)	①対面のみ ②オンラインのみ ③対面・オンラインどちらでも可		
②または③の場合の具体的なウェブ会議ツールの名称等	オンラインで実施する際はTeamsもしくはzoomを使用		
授業の目標等	小さなデザインから、まちを切り拓く		
<p>今後の人口減少熟成社会において、地域活性化が益々叫ばれ、地域に新たな付加価値を生み出す「デザイン」はとても重要な役割を担います。その中でも、家具什器や屋台のような小さな建築は、大きな資金を使わずに、スピード感を持って付加価値を生み出すことが出来る重要なデザイン手法です。本授業ではハード面・ソフト面、双方の視点から、単一敷地ではなく、地域やエリアに価値を生む視点を持って、小さなデザインの提案を行うものです。</p>			
授業内容・計画等	<p>1. ①レクチャー 「教員自己紹介&これからの社会に求められる 小さく早いデザイン」</p> <p>②事例見学・・・築60年の古民家をリノベーションした複合古民家実験住宅TateshitaCommonや、apartment BEAVER、HotelTateshitaSauna&Living、コワーキングスペースTateshitaShareの見学を通し、設計者自らが地域開発している事例に触れる。</p> <p>③フィールドワーク・・・エリアを歩き、今回の提案敷地の現地調査を行う。</p> <p>2. 最終プレゼンテーション・・・ゲストクリティークを招き、大学生が本授業を通して取り組んだ提案を発表・講評する機会を設けます。</p>		
テキスト・教材・参考書等	<p>テキストは特にありませんが、持続可能な地域づくりに興味のある人は事前に以下の書籍を読んでおくことをおすすめします。</p> <p>「稼ぐまちが地方を変える 誰も言わなかった10の鉄則 (NHK出版新書) 木下 斉」</p> <p>「地元がヤバい...と思ったら読む 凡人のための地域再生入門 (ダイヤモンド社) 木下 斉」</p>		
履修上の注意	<p>■ 大学生は4日間を通して取り組むカリキュラムとなっていますが、高校生には初日(レクチャー・事例見学・フィールドワーク)と、4日目の最終プレゼンテーションの2日間のみ参加していただきます。</p> <p>* 上記が基本ですが、もしプレゼンテーション提案に、自ら主体的に参加したい高校生がいれば、受け入れ可能とします。(その場合、プレゼン作成の作業をする会場は宮城学院女子大学となります。)別途個別にご相談ください。</p> <p>■ 初日は基本的には「対面のみ」、最終プレゼンテーションは「対面・オンラインどちらでも可」とします。</p>		

高校生へのメッセージ等

建築家や設計者が、持続可能な地域をつくるためにできることは何でしょうか？本当に豊かな地域・都市のあり方とは何なのか、都市の一部をつくる建築家・設計者として、その地域・都市を広い視野で知り、その上で小さな場づくりに取り組むことがとても重要になってきます。ぜひ、実際の地域を舞台に、デザインをとおしてできることを一緒に考えてみませんか？

(様式2)

令和7年度公開授業・公開講座用シラバス

		科目No.	61
大学・短大名	宮城学院女子大学	学部・学科	学芸学部 日本文学科
授業科目名	大学で学ぶ文学入門 —「羅生門」を読む—	担当教員名	深澤昌夫・笠間はるな
開講期間	8/2 ・ 8/9	開講曜日・時間	土・10:30～14:30 (昼食休憩含む)
受入人数	10名程度	会場	宮城学院女子大学 (教室未定)
公開授業・公開講座の形態(①～③から1つ選択し○をつける)	①対面のみ	②オンラインのみ	③対面・オンラインどちらでも可
②または③の場合の具体的なウェブ会議ツールの名称等			
授業の目標等			
芥川龍之介の「羅生門」は誰もが知っている高校教科書の定番教材です。この講座では2人の教員がそれぞれの専門の立場から「羅生門」の授業を行います。大学ではどういうところに注意して読んでいくのか、文学の研究とはどういうものなのか、改めて「羅生門」とはどのような小説だったのか、気になる人はぜひ参加してみてください。もしかしたらそこに「あなたの知らない世界」が開けてくるかもしれません。			
授業内容・計画等			
8月2日 午前の部 10:30～12:00 『今昔物語集』の「羅城門」と芥川の「羅生門」(深澤) 午後の部 13:00～14:30 「羅生門」の誕生 —推敲過程をたどる— (笠間) * 8月9日は午前の部と午後の部を入れ替えます。授業内容は8月2日と同一です。			
テキスト・教材・参考書等			
『言語文化』の教科書、国語辞典(電子辞書可。できれば紙のもの)をご持参ください。			
履修上の注意			
8月2日、8月9日とも授業内容は同一です。どちらか都合のいい日を選んで参加してください。全日の参加が難しい場合は、午前の部・午後の部いずれかの参加でもかまいません。あるいは8月2日と9日、2回に分けて受講することもできます。			
高校生へのメッセージ等			
当日は一方通行の「講義」ではなく、なるべく皆さんとディスカッションしながら授業を進めたいと思います。昼休みは学生食堂も利用できます。この機会にぜひ大学の雰囲気味わってみてください。時間があれば大学図書館もご案内します。			